

## 第 27 回全日本マウンテンバイク選手権大会 レースレポート

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 齊藤 亮

大会名：第 27 回全日本マウンテンバイク選手権大会

期日：2014 年 7 月 20 日（日）

会場：静岡県伊豆市 日本サイクルスポーツセンター

天気：曇/晴

気温：29℃

競技種目：XCO 男子エリート 4.25km×7 周

出場者数：73 名

レース結果：3 位

.....

年に 1 度、日本一を決める決定戦。それが全日本マウンテンバイク選手権大会。選手にとっても、チームにとってもやはり特別な大会。そんなプレッシャーの中でも自分のやるべきことをしっかりと把握し、レースまでの日々を過ごして来た。特別なことはしない。気負い過ぎないこと、自分のペースを崩さないことを意識しながら様々なシミュレーションをしながら準備を進めた。

昨年に引き続き今回の会場も静岡県伊豆市にある日本サイクルスポーツセンター内に新設された 1 周 4.25km の XC コース。高低差は少ないものの細かなアップダウンが続き、バームや沢渡り、4X コースの一部を使用するなどテクニックも必要とするセクションも多数ある。パワーとテクニック、そしてコース攻略が勝負の分かれ目と言えるだろう。前戦の J1 雫石 STAGE から約 1 ヶ月近くレース期間が開いたこともあり、今レースに向けた強化合宿やローカルレースにも積極的に出場し自身を追い込むことが出来た。だからこそ主要レースがなかったこの 1 ヶ月の期間でしっかりとトレーニングを積むことが出来たことで自分なりの手応えと成長を感じ取ることは出来た。目指すはもちろんタイトル奪取。そして絶対王者である山本幸平選手（Specialized Racing Team）と最終局面まで競い合える走りをする。週間天気予報を確認すると週末は不安定な天気です雨マークがチラホラ…。天候が気になりつつも、雨対策の準備も出来ているため問題はない。気温と湿度も 2～3 日前をピークに徐々に涼しくなり信州と然程変わらない暑さ。

決戦当日、レース 2 時間前に会場入り。スタッフ、サブライヤーとレースに向けた詳細を確認し合う。準備万端。会場に足を運んで下さる観客の多さに自然とテンションが上がり、緊張感も増してくる。遠方から応援に駆け付けてくれた家族、友人、仲間、所属チームであるブリヂストンサイクルの社員の方々の応援が何よりも心強く、どこのチームにも負



けない大応援団を結成して下さった。絶対に良い走りを魅せたい……。その思いを胸に号砲を待つ。男女ユース・ジュニア・マスタークラスからスタートしていき、男子エリートは 13 時 30 分。この日気温は 30 度近くまで上がり、とても蒸し暑い。オンタイムの定刻通りにスタートが切られた。

号砲と共に反応よく一気に加速。課題のスタートダッシュも問題なく決まった。スタートから 400～500m 程続く芝生の登り坂で確実に前方をキープし最初のダートを 4 番手で進入し 4X コースへ。理想のカタチ、理想の展開だ。予想通り前半からかなりのハイスピード展開。若干オーバーペース気味でもトップ集団に食らい付く。勝ちたい、その気持ちが自然とそうさせる。しかし 1 周目後半の登り坂で徐々に集団から遅れてしまう……。身体が重く苦しい……。1 周目を 5 位で通過し 2 周目へ。大量に吹き出す汗。しっかりと水分補給をし、気持ちを落ち着かせる。明らかに自分が想定、理想としていた展開ではない。そしてイマイチ走りも噛み合っていない。何かが違う……。山本幸平選手と武井享介選手から約 40 秒先行される展開で、チームメイトの平野選手と前を追う。呼吸が苦しい……。呼吸の乱れから少しずつフォームも乱れていく。意識してフォームを崩さないよう気を付け後続との差を確実に広げていく。一度ペースを落ち着かせ呼吸を整えたい。しかしペースを落としたら先頭パックから離されてしまう……。タイム差を詰めるため、必死で食らい付き周回を重ねていく。登り区間では自分の走りが重く、ダンシングが上手く出来ない。明らかに調子の悪い時の傾向だ。しかし気持ちで消極的になり、守りに入らないよう相手の出方を伺う。

4～5 周目はトップとのタイム差が若干縮まったが、射程圏内に捉えることは出来ない。レースも後半に差し掛かり何があるか分からないからこそ、諦めることなくプッシュし続ける。しかしその後の周回もタイム差が縮まることも開くこともなく、同じ距離間でレースは進んでいく。折れそうになる気持ち……。弱い自分が出そうになる。最後の最後まで何があるかわからない。だからこそ集中力と冷静な判断力を保たなければならない。フィールドゾーンでは冷水を頭部からぶっ掛けて少しでも体温を下げる。いよいよラスト周回に入り先頭とのタイム差は約 52 秒。チームメイトの平野選手との 3 位争い。後続



とは 2 分近くの差がある。泣いても笑っても後 1 周でレースは終わってしまう。暑さに負けず全力でペダルを踏み込む。そして最後の登り坂で渾身のアタックを決め、平野選手との争いから抜け出し 3 位でのフィニッシュ。悔しさや苛立ち……。しかし自分の力を出し切った達成感……。色々な感情が込み上げてきたが、自然と笑顔でのゴールとはならなかった。

優勝は全日本選手権初優勝となる武井選手。本当に良い走りだった。彼は一昨年からは海外のレ

ースを中心に急速なスピードで進化してきた。海外を転戦してきたプライドと自信があるのだろう。しかし自分も SUUNTO のデータに基づきながらトレーニングを組立て、今まで過酷なメニューを続けてきたのは日本一奪回を目指したものだ。だから 3 位表彰台でいい。そんな感情は一切ない。ただ前だけを見て、トップを目指し追い込み続けた 1 時間 30 分の今レース。国内を拠点に活動し続ける選手でもやれば出来るんだ。そういう姿を観客やファン、関係者の皆さんに見てもらいたい。だからこそ最後まで絶対に諦めない走り。意地と意地のぶつかり合い、ガチンコバトルをもっともっとしたかった。観客が盛り上がり、走っていて苦しくも楽しかった。詰りそうであつた僅かなタイム差。この差がどれだけ大きかったかは自分が一番理解している……。ゴールに集まる観客の皆さんからたくさんの拍手と声援を頂き涙がこぼれ落ちた。攻めの姿勢、このスタイルは最後まで貫いたつもり。これには結果以上に大きな意味があると思っている。シーズンを通して、J シリーズ戦はリベンジ出来るが、全日本選手権のリベンジとなれば来年になってしまう。1 年の集大成が今日終わった。そして、この全日本選手権を迎えるにあたり、本当にたくさんの方々の協力を頂いたことに感謝したい。チームスタッフやメカニックが朝早くから夜遅くまでバイクを整備・調整してくれ、ケミカルメーカーであるホルメンコールの担当者は忙しいスケジュールにも関わらず、バイク・チェーンを完璧な状態にセットアップしてくれた。トレーナーも自信を持って選手の身体をチューンナップしてくれた。ブリヂストンサイクルの社員の皆さんはどこのチームにも負けない大声援を送ってくれた。皆さんがそれぞれの持ち場を完璧に全うして下さり、最高の環境と最高の状態でレースが出来たことに感謝するばかり。

恵まれた環境に甘えることなく、もっと先。その先を追い求めていきます。皆さまのサポートと応援が本当に心強く励みとなりました。今は少しだけ、体と頭を整理する時間が必要です。自分自身、次のステージに進むための手応えを得ているのは確かです。

チームスタッフを始めとする、多くのスポンサー様、サプライヤー様、家族、仲間、友人、ファンの方々、皆さまのご協力と応援本当にありがとうございました。



### 【レース結果】

1. 武井享介 茨城県/ チーム・フォルツァ
2. 山本幸平 北海道/ SPECIALIZED RACING TEAM
3. 斉藤 亮 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
4. 平野星矢 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
5. 恩田祐一 新潟県/ MIYATA-MERIDA BIKING TEAM
6. 小野寺健 京都府/ MIYATA-MERIDA BIKING TEAM



【使用機材】

バイク：ANCHOR / XR9

コンポーネンツ：SHIMANO / XTR FC-M985

ホイール：SHIMANO / XT WH-M785

シューズ：SHIMANO / SH-XC90

ペダル：SHIMANO / PD-M980

ハンドル：SHIMANO PRO / XCR

ステム：SHIMANO PRO / XCR

シートポスト：SHIMANO PRO / XCR

フロントフォーク：SR SUNTOUR / AXON-WERX-RC-RL-RC AH CTS 27.5/100MM

タイヤ：SCHWALBE / RACING RALPH (27.5×2.1)

サドル：fi'zi:k / TUNDRA2

ヘルメット：KOOFU / WG-1

サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro / クリスタル S グラデーション

ケミカル：HOLMENKOL

チェーン：ルーベエクストリーム、 ダートプロテクター

フレーム：スポーツポリッシュ、 アクアスピード

リム、スポーク：アクアスピード

クリーナー：ライニガー、スポーツクリーン、バイクウォッシュ、クリーナー8in1

ウェア、シューズ：ハイテクプルーフ

サングラス：ノーフォグ

時計：SUUNTO / AMBIT2S & CORE CRUSH

メーター：パワータップ G3 プロ MTB ハブ / ジュール GPS

ネックレス：SEV

ドリンク：SAVAS (株式会社明治)

サプリメント：SAVAS (株式会社明治)

レースウェア：WAVE ONE

レースグローブ：KABUTO / PRG-3

アンダーウェア：CRAFT

インソール：SUPER feet / Black

アパレルウェア：Columbia

ザック：deuter

テーピング：New-HALE

